

令和7（2025）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

エゾボラモドキ日本海

対象水域	日本海 (山形県～島根県)	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター
------	------------------	-------	---

- ・令和5年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_214.pdf）、次回令和8年度を予定

(1) 調査の概要

- ・機構は分布・資源量調査（トロール・桁網）および各府県の漁獲情報データ整理を実施
- ・各府県は漁獲情報収集調査を実施
- ・鳥取県は漁獲情報収集調査に加え、分布・資源量調査（トロール）を実施
- ・本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・山形県では2022年以降の漁獲情報を収集済み（2023年以降水揚げナシ）
- ・新潟県では2022年以降の深海性バイ類（エッチュウバイ等を含む）の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・富山県では2022年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・石川県では2022年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・福井県では2000年以降の深海性バイ類の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・京都府では2016年以降の深海性バイ類の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・兵庫県では2013年以降の月別沖底漁獲量を収集済み
- ・鳥取県では2011年以降の月別漁法別漁獲量（コナガニシ，ナガニシを含む可能性有）を収集済み、2020年以降のトロール調査データを整理中
- ・島根県では2022年以降の月別漁法別漁獲量（他種を含む可能性有）を収集済み
- ・機構では2011年以降のトロール調査データを収集・整理中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和5年度資源評価調査報告書を参照 (https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_214.pdf)
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・チヂミエゾボラ等の他のバイ類が混同して集計される場合が多く、系群全体の正確な漁獲量の集計が困難
- ・生態学的知見に乏しく基礎的知見の集積が必要